1965
5月号
No.138
編集兼発行
鮫川村役場
鮫川村公民館
塙町 佐藤印刷所

広報 さめがわ

5月の人口と世帯
人口 7.639(−36)
男 3.775(−22)
女 3.864(−14)
世帯数1.240(+7)

異常気象に備え
対策本部を設置

農作物に赤信号

三月から四月にかけての異常低温は大正十五年以来のもので、気象庁の長期予報でも異常気象は継続しそうだといっており冷害のおそれはさらに強まってきました。

この対策に県では早くも農業団体とともに本部を設けて活動を始めていますが、村でも五月十三日に関係役職員が役場会議室で協議会を開き対策本部を設けることになりました。

予防対策費は各団体で

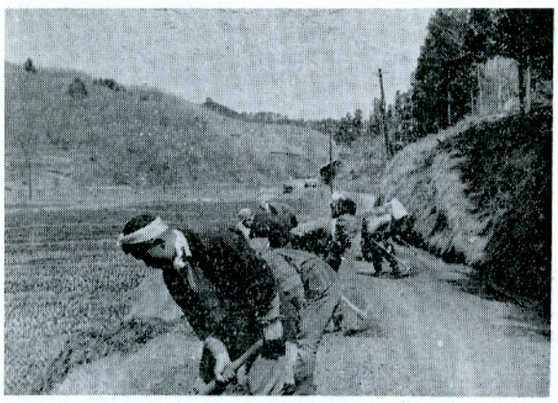
この本部は村内各産業団体及び機関の技術職員を対策委員とし、気象情報の収集と対策、被害実態の調査とその対策を中心に活動を始めます。

五月十六日には、委員を十二の指導班に編成し、各農事組合単位に苗代診断と立枯病を重点として、村内一斉に移動相談を行ない、とりあえず立枯病の共同防除を助成するため農薬購入費の一部を補助することにし、村と農協が予算をもちよることになった。なお今後の運営に必要な経費は団体長会議で決定することが協議されました。

本部長に村長

対策本部の構成は次のとおりで、事務局は村役場の産業課に置かれ、いつでも相談に応じますから御利用下さい。

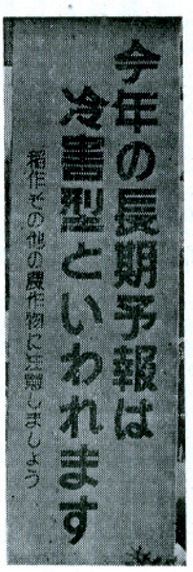
本部長…石田村長
副部長…須藤助役、芳賀農協組合長
委員…(役場)金沢産業課長他課員六名、(農委)芳賀、国井、(農協)矢吹、中井、沢村、(共済)有賀青戸、(たばこ公社)芳賀(森林)窪木、鷲野谷、(土地改)国島
参与…円井消防団長、東白川県事務所、上田振興課長他課員、農改普及所職員



〝村の文化は道路から〟県道も村道も私たちの手で立派にしようと、5月1日には村内一斉に道路愛護作業が行われました。



異常気象を科学技術で克服しようと、村の農業技術陣と、県出先機関の技術普及職員が、対策本部で熱心に討議しました。



今年の天気予報は、昨年を上回る不順天候で冷害が心配されています。今年の気象経過は、餓死者や離村者が多く出た天明の飢きん(百八十年前)の気象状態によく似ているということです。

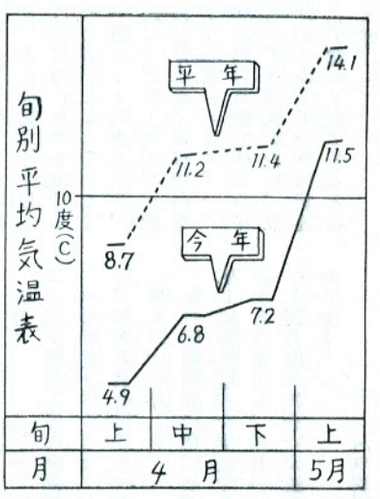
今年暖候期の予想は、五月中旬は「さつき晴れ」が続くが下旬には、オホーツク海からの冷たい高気圧が押し寄せてツユのはしりが現れる。六月下旬から七月はじめにかけて本格的なツユとなる。このツユで低温が続く恐れがある

七月中はツユ型の気圧配置で下旬までぐずついてツユあけは遅れのみこみ。八月の気温はやや低めの傾向。秋の訪れは早くなりそう…と予想されています。長いツユ、気温は低め、秋の早冷と稲作には特に注意しなければならない予想です。

⊙鮫川村の気象

役場前の観測所で観測した今年四月頃の気象状態をみると、三月の平均気温は平年並に過ぎましたが、四月にはいってからはなかなか上らず、四月の平均気温は六・三度で平年よりも四・一度低く、五月上旬の気温は十一・五度で平年より二・五度低く経過しています。風向を昨年と比較すると、昨年の四月と五月上旬に吹いた南よりの風は十六日間、今年は七日間で少く、前年よりは冷たい北風が多く吹き込んだことになります。降水量はすくない目、日照時間は平年並に経過しました。気温を旬毎にみると次表のとおりで、平年よりは気温の上りが約半月以上も遅れていることがわかり、桜の開花や桑の発芽が遅れたのもうなずけます。

(産業課)



六十四戸に明るい灯

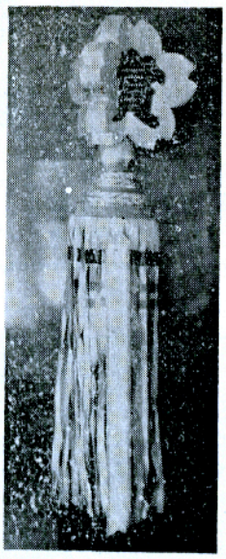
昭和三十三年度から村の約二割近い二三〇戸の無電灯農家が、毎年国、県、村の助成をうけて電気導入を行ってきました。

三十九年度は村内各地域六十四戸に明るい光が灯されました。総工事費一、〇〇〇万円の内、国県より四〇〇万円の補助金をうけ、農協が事業主体となり、去る二月十八日に六十四戸の全戸に電気がとどきました。五月二日富田小学校において、鍬木田、福原両部落の十二戸が、村長、農協長、電力会社、土地関係者等を招待し盛大な点灯祝賀式を行い、文化の恩恵の喜びを分ち合いました。

又全国一と云われた青生野無電灯部落も、今では三戸を残して電灯が灯り、明るい生活を送っております。

なお四十年度は八戸が計画され、すでに設計も終り秋頃までには点灯される見込です

(産業課)



福島県消防協会東白川支部幹部大会が、去る五月九日棚倉小学校構堂で開かれ、火災予防、訓練等の成績が特にすぐれている本村消防団が、再び金ばれんを受賞しました。

本村関係の受賞者は次のとおりです。

◎福島県知事表彰
永年勤続章（二五年以上）
円井彦兵衛、蛭田藤留、坂本義利、小松保、小松誠、青戸敏哉、小松源方、石原正人

◎福島県消防協会長表彰
功績章　円井彦兵衛
精勤章　蛭田藤留、関根仁雄、森田森嗣、鈴木幸男、鈴木一良、円井七之助、水野雅光、矢吹義郎、関根通藤田一郎、白井和男、坂本春光

一般人感謝状
（初期消火協力者）
西山馬場　鈴木幾久雄

永年勤続章（二〇年以上）
矢吹由栄、芳賀喜一、関根乙夫、森康、木之内一夫、小松一男

◎福島県東白川事務所長表彰
（消防施設整備に功労があつた者）
赤坂西野　石井半次

◎福島県消防協会東白川支部長表彰
優良団員章
須藤金一、遠藤慎一郎、森田森嗣、大河内平、小林秋男、関根仁市、船木正衛、永年勤続章（一五年以上）
矢吹由栄、石井清重郎、岡部文雄、湯座清男、松本定

6月1日 計量器の検査

はかり、ます、長サ計等取引（売買貸借贈与）や証明（統計の公表、公共機関への報告等）に用いられる各種計量器の検査を六月一日、公民館で行います。今度の検査を受けない計量器を今後取引や証明に使用すると法により罪せられますから該当者は必ず受検して下さい。

心に鳴らせ 交通安全の鐘

交通事故は毎日のようにおこり尊い命がうばわれている今日、少しでも事故をなくそうと、春の全国交通安全運動が五月十一日から十日間展開されております。

運動の目標は、人命尊重の見地から交通事故防止の徹底とくに歩行者の交通事故の絶滅を図ることにあります。

この運動を推めるため去る五月七日に交通対策協議会を開き、具体策について次のとおり決定し実施しました。

1 交通安全パレード（写真）
・五月十二日村内一周
・参加者　五十名（安全協会役員、鮫中生、婦人会役員、警察署、村職員）
・参加自動車　十台

2 交通安全モデル職場の指定
——鮫川タクシー

3 黄色い小旗の利用
小学生が登校のさい利用している黄色い小旗が古くなつたので、村で新調して各学校に配付し児童の交通事故を防止する。

期間中だけでなく、いつでも交通ルールを守り、無事故の村づくりに御協力下さい。

（庶務課）



転入者と新有権者 必ず申出を!!

このたび公職選挙法の一部が改正になり、その中で補充選挙人名簿登録について次のように改正されました。

選挙毎に一定期間を定めて行つた補充選挙人名簿登録申請が廃止され、昨年の十月より実施されている随時登録申出制に一本化されたことです。

補充選挙人名簿はこの申出によつてのみ調整され、しかもその選挙の公示または告示の前日までに登録申出をした者について調製されますので公示または告示になつてから申出をしてもその選挙には間にあわないことになります。この点よく注意され申出の要件が生じたならば直ちに登録申出をするようにして下さい。

この登録申出の要件は次のとおりです。

「基本選挙人名簿または補充選挙人名簿に登録されていない日本国民で、その市町村内に住所を有し満二十才に達した者、または満二十才以上でその市町村に住所を有するに至つた者」となつていますので、満二十才に達した方、又は満二十才以上で本村に転入された方は必ず登録申出をするようお願いします。

選挙管理委員会ではこの申出にもとずき調査を行い、登録要件が具備していれば補充選挙人名簿に登録することになります。

登録申出は印かんをおもちになり村の選管（庶務課）または住民課窓口に申出をして下さい。

七月始めには参議院議員の選挙が行なわれる予定です。有資格者は直ちに申出をするようおすすめします。

（選挙管理委員会）

昭和四十年度の監査計画

市町村の監査委員は職務権限として、毎会計年度中に一回以上期日を定めて定期監査を執行しなければならないことになつておりますので、鮫川村監査委員は四十年度の定期監査を三回とし次により、村の財務に関する事務の執行及び村の経営に係わる事業の管理について監査を実施いたします。

一、出納室及び税務課関係の会計及び一般事務＝四十年五月。

二、庶務課及び住民課関係の一般事務＝四十年十二月。

三、教育委員会関係の一般事務＝四十一年二月。

なお定期監査の他、必要に応じ臨時に監査を実施することがありますし、毎月一〇日には例月出納検査を実施しております。

（事務局）

村の歩み ㉒

異常気象と科学技術

村長　石田卯子八

今年は「静かな太陽」の年であるといわれ、長期予報も冷害型を報じ海洋の冷水帯も本県の沖近くから去らない模様で、農作物の前途にいろいろな心配がもたれます。

八十八夜をすぎてもサクラが満開にならなかつたという現象も、私たちの記憶にはめずらしいことです。

会津地方のような豪雪被害がないことはまだしもですが気温のおくれが十日以上と思えるような現状では十分の警戒が必要であることは申すまでもありません。

苗代半作といわれる苗の生育もおくれているし、病害もこれに伴いやすいので、それぞれ当面の処置を講じなければなりません。

阿隈高冷地域の凶作には低温の被害から直接くる「冷害型」と、それを原因として起る「病害型」とあり、何れも太陽異点の極小限の前後に起るといわれております。

昨年と今年はこの年次にあたるということですから異常気象は一応既定のこととして最善の技術対策を講ずることが大切です。

しかしこのような年次が必ずしも低温だけで経過するとは限らず、時に高温あり、低温あり、旱ばつがあつたり、長雨があつたり、気象の振幅が大きいと考えるのが相当と思います。

昭和九年、一〇年、二八年当時にくらべると、この途の科学技術は相当進んでいるしかりに天明三、四年の程度の気象が再来しても対処の技術的方策は既にいろいろ改善されており、今後の努力に期待されるものも多いわけです。

相手が気象であるだけに、予断はできませんが、苗代期の気象がそのまま収量を決定するものではなく、今後の推移と技術的な対策によつて、被害を最低に止める途はあるのですから、過剰ムードを排し、勇気をもつて科学技術をとりいれられることをお願いしたいと思います。

稲作にとつては、この振幅のある変化と生育過程の偶然性が重要であつて、幼穂形成期や出穂開花期に、極端な低温寡雨がくれば、決定的な打撃をうけ、青立現象を起します。

登熟期に入つてからの、昨年程度の低温では、病害の併発が少い限り、ある程度の被害に止める期待がもてましょう。

恐るべきは病害でありますから、今の段階では苗代の病害防除を十分に行うこと、苗代の病害を本田に持込まない周到な管理が必要です。

議会だより

研修視察報告記（その一）

国際畜産ショーをみて

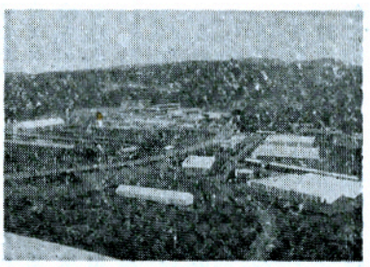
去る四月二十三日より二十八日の六日間にわたり、議員全員参加のもとに北九州の阿蘇山麓地帯における酪農と農業形態、千葉県木更津で行なわれた国際畜産ショーを視察して参りました。

この報告記を本号より数回に分けて掲載します。

× × ×

国際畜産ショーは、中央畜産会等が主催して、四月十日より五月十日までの一ケ月間に亘り、千葉県の木更津マザー牧場で開催されました。会場になつたマザー牧場は南房総国定公園の中にあつて、海抜三五〇mの山地約二〇〇haを牧草化して、乳牛一〇〇頭肉牛四〇頭、緬羊三〇頭及び豚などが飼育されている近代的な牧場であり、このたびはアメリカ・イギリス・オーストラリヤなど六ケ国より出陳された家畜の紹介並びに畜産全般にわたる経営、技術等の指導や相談が行われておりました。

出陳された家畜の主なものは乳牛、ホルスタイン種、ジヤージー、レツトダニツシユ、肉牛はアンガス、ヘレホード、ショートホーン、緬羊、ロムニーマツシユ、サウスダーン、豚ランドレース、大、中ヨークシヤー等で初めて見る家畜もあり大変参考になりました。特にこのショーをみて酪農の近代的な設備、省力的な機械化には、専業農家としてあるいは協同経営を行うという観点から将来の畜産経営のあり方について考えさせられる点がありました。



畜舎は、ルーズハウジングシステム（ルーズバーン）であり、これに付属する大きなスチールサイロ、ミルクパーラー、またスタンチヨンにつながれているジヤジーにはマツトレスが敷かれており、倉庫には青々とした乾草が満積されておりまつたくうらやましいかぎりです。

私達が飼育している和牛について考えるとき、和牛は使役を兼ねた肉牛でありますが今のように耕耘機が普及し機械力の世の中になつたとき、役肉用牛のように体積の小さい和牛とヘレホードやアンガスなどの肉用種と比較した場合、どちらにも一長一短がありましようが今後の畜産振興の面から考えるとき、飼育農家自体がもつと考えて研究しなければならない課題があると思います。私達の視察に際して元東白酪農組合に勤めていた小西獣医（現舘山家畜保健所）が案内し説明してくれましたが、房総付近の酪農は近親蕃殖による乳牛の改良が早くから行われておるので良質の乳牛が多いそうです。又酪農が盛んで一町村平均二千から三千頭がおり管内では三万五千頭も飼育されており、この地方は全国でも早くから酪農が普及された地方だそうです。とにかくこのたびの視察は、畜産業の新しい知識を得て有意義な研修でありました。

議会議員　蛭田　正

（つづく）

⊙去る四月二十日に第五回議会臨時議会が招集されました（全員出席）

会議録署名議員の指名（金沢(甲)・遠藤）、会期の決定（一日間）と例月出納検査の報告があつたあと議案第二十四号、併用林道協定について議案第二十五号、村道路線の認定についての二議案が上程され、それぞれ原案どおり可決されました。

鮫川百景の会

郷土をえがく鈴木画伯

本村中野の出身で東京都小金井市に住み、中央画壇で活躍している鈴木春詩画伯は、近年ますます健筆を振い、昨年は日展にも入選しています。画伯は郷土の姿を百景に描き長く後世に残したいとの念願をもつていたが、このほど村内有志の協力により石田村長を会長にした百景の会が発足し会員の募集を始めました。

作品は本年と明年の文化祭に公開され会員に頒布される予定ですが、画伯は既に数回にわたり来村し、村内各地をスケツチ（写真）しています

この会の益金は画伯の意志により村のために役だつことに使われることになつており同会では育英資金などに使うとのことです。

各大字の世話人は次のようになつていますので希望者は申しこんで下さい。

西野…高坂尹、石井半次
西山…関根信政、大竹茂、石井栄一
中野…大楽勝男、山本治三郎、金沢次男
東野…前田正男、遠藤正雄
鈴木嘉上
富田…青戸彦右ェ門、坂本長治、松本清寿
渡瀬…芳賀悟朗、蛭田一、近藤陸男
青生野…長井久、鈴木清司
土手内万吉
事務局長…中川西金之助
局員…斉須寛他四名
会計…蛭田正、鈴木英亮



岡の壇



八幡さまの杉

塚本児童館にて

昨年塚本部落で、子供の健全な育成を図ることを目的として、子供の遊園地が計画され村と県の補助があつて完成しました。この遊園地にはブランコ、シーソー、回転塔や水平梯子等の外にスポーツ用具一式が設備され、児童館内には図書室が設けられ、子供会の活動で立派に運営されております。村の児童委員会及び教育委員会では五月十二日にこの施設の視察を行いました。当日十時から児童館内で会議を開き、館長星弥義氏の説明をききました。各委員から早くから行われておるので良質の乳牛が多いそうです。又酪農が盛んで一町村平均二千から三千頭がおり管内では三万五千頭も飼育されており、この地方は全国でも早くから酪農が普及された地方だそうです。とにかくこのたびの視察は、畜産業の新しい知識を得て有意義な研修でありました。

議会議員　蛭田　正

（つづく）

⊙去る四月二十日に第五回議会臨時議会が招集されました（全員出席）

会議録署名議員の指名（金沢(甲)・遠藤）、会期の決定（一日間）と例月出納検査の報告があつたあと議案第二十四号、併用林道協定について議案第二十五号、村道路線の認定についての二議案が上程され、それぞれ原案どおり可決されました。

会長に大楽氏

五月十日に鮫中で開かれた村PTA連絡協議会総会は、四十年度事業として、鮫小の体育研究、鮫中の学力推進の研究指定校の援助と教職員住宅の建設促進などを決議したあと、役員改選に入り次の役員を選びました。

会長…大楽勝男（再）
副会長…須藤栄恭（再）松本啓（新）

なお本年度のPTA会長は次のとおりです。

高坂正雄（西野小）、鈴木一実（西山小）、前田弘（鮫小）、佐川一美（東野分校）、三瓶正司（戸草分校）船木操（富田小）、芳賀正夫（渡瀬小）、鈴木清司（青生野小）、大楽勝男（鮫中）、中川西金之助（鮫高）

葉煙草の共同防除



土壌中に生息している病害虫を防除するため、村では農薬（クロルピクリン）に補助し五町歩にわたり防除作業を行ないました。

写真は西山の菅田地区。

つゆどきの住い

雨の多いこの季節で、とくに気になるのは、台所やお便所、ふろ場などの悪臭です。この対策は風通しをよくすることとか、市販の脱臭剤を利用するのがなによりですが、木や草の葉をこまかくきざんで、皿の上などにのせたり、お便所などにのせたり、お便所などから葉のついた枝のまま花びんにさしておくと案外臭がふせげるものです。葉の成分である葉緑素が空気中の酸素にふれて脱臭作用があるためです。

また、この月は一年中でいちばん雨の多い月です。とくに月末の二五日～二八日が統計的にも多いそうです。したがつて豪雨による災害もこの日を中心におこつています。例年のことですが、家の周囲の水はけ、雨もり、屋根の修理など、この雨期に入る前にぜひ完全に補修しておきたいものです。

告知版

委員さん方かわる

任期満了により次の委員が、教育委員会より任命されました。

公民館運営審議会委員
大森重正、大野祐喜、渡辺喜好、森田清、三森満雄、古川一郎、小山田伸、安藤祐夫、蛭田ケイ、大楽勝男、芳賀一郎、中川西金之助、白坂勝弥
芳賀悟朗
社会体育指導員
鈴木美夫、矢吹孝之助、郷田正、中野英二、生田目定之助
生方利夫、緑川多気志、円井重雄

森林組合の新役員

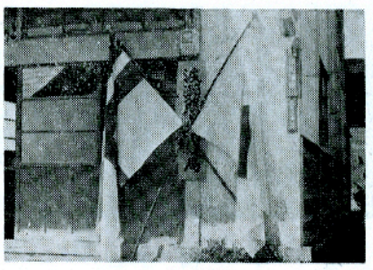
五月十三日に町公民館で総会を開き、三十九年度事業報告、四十年度事業計画など九議案を原案通り承認決定し、理事、監事の改選を行い次の通り新役員を選びました。

理事…霜田幸雄（西野）、関根保（西山）、鈴木市夫（中野）、前田正男（東石）
岡部伝（富田）、藤田伝（渡瀬）、長井久男（青生野）
監事…須藤栄恭（西野）、宗田幸雄（東石）、小松七郎（渡瀬）

渡瀬に簡易郵便局

郵便局の出先機関として農協が受託者となり渡瀬支所を事務所（取扱者、矢吹善信氏）として五月一日から開局されました。

これは郵便局から遠い地域に地方自治体などを受託者として窓口事務（郵便引受、振替貯金、為替貯金の受払い）を取扱う制度で、郡内には山岡、那倉、真名畑などがあります。



会長に矢内さん

各大字ごとに結成されている老人クラブ（会員四六二人）の連絡協議会を設けようと各会長さんが四月三十日に村公民館に集り、会長に矢内嘉続さん（中野）副会長に矢吹長逸さん（西野）を選び、相互の連絡をはかるとともに国旗掲揚の運動を全村的に進めることを申しあわせました。

子ども図書館

さきに児童遊園地をつくった、西野の塚本部落では、児童館内（館長、星弥義）に子供のための図書館を設け、村公民館の児童用図書八十三冊（写真）を借り受け、日曜日ごとに開館しています。



図書の寄贈

公民館図書室に早川新聞店より
「続売報道写真集　一九六五年版」
「やさしい家庭の理科教室　科学に強くなる」
の二冊が寄せられました。紙上より御礼申し上げます。

副支部長に円井氏

県消防協会東白川支部の役員改選は四月に行われ、本村消防団長円井彦兵衛氏が副支部長に選ばれました。

☆　☆



鮫川郵便局提供

電話加入者の皆様へ

電話にはいろいろのサービスや利用の仕方がございます。皆様の御用向きに応じて、これらのサービスを上手に使いわけていただきますと時間とお金と労力のムダがはぶけ大変お徳になります。

◆お申し込みは番号で申込みましょう◆

当局の加入者数はすでに一二〇となり、特に共同電話が多いため、交換取扱者のひとりひとりが、加入者全部の方のお名前と番号を記憶することは事実上困難です。

屋号や氏名で申し込まれますと、あなたの通話の接続はおくれますし、まちがいのもとです。お申し込みは必ず番号でお願いします。

◆市外通話をお申し込みの際は◆

必ず局の方では間違いがないか反覆をしますので反覆をよくお聞きになつて、間違いが、わかつたら、すぐ訂正方を申出て下さい。

◆共同電話のある方へ◆

どちらか一方で使用しているかどうか、よく調べてから局を呼出して下さい。使用時の処へ信号を送ると切断されてしまいますから御注意下さい。

◆電話料金のお支払いについて◆

電話料金の支払請求書がお手元に届きましたら、お早目にお支払い願います。

当局の電話料金納入期限は「毎月十日」です。おそくとも期日までには必ず納入される様お願いします。

電話料金は集金いたしておりませんから、もし間違つてよそから請求されたり、送金を依頼されてもお支払いのな、様に御注意下さい

母子センターを利用して

東野字戸草　本郷清美

六日の朝急に妻が、お腹がいたむといい出しました。早速二十二番に電話致しました

電話して三十分もしない内にもう迎えの車が来てくれ、午前八時半頃女の子を無事生みましたと、電話がありました。六日には行くことが出来ないで七日のひる頃たずねましたが、センターに入ると良く設備の整っているのにおどろきました。室内に入ると妻とみどり子は明るい日ざしをいつぱい受けながらきれいな六畳間に目のさめる様なきれいなふとんにしあわせそうに休んでおりました。「係の人が何にかとこまかに心配してくれるので何不自由なくゆつくり静養出来る」と喜んでおりました。私は農業の方は二人でやつておりますので忙しい時に休まれるのが一番つらいことですが、センターのおかげで何にも心配する事もなく毎日野良仕事が出来ましたセンターに働く皆さんのおかげです。妻の食事のことも見舞に来てくれるお客さんの接待の心配もなく本当に助かりました。自宅でお産するより、費用も安く栄養の事も心配しないですみました。

十三日に母子とも元気で帰つて来ました。八日間ですつかり元気になりこれがお産した人かと疑えたくなるくらいです。おかげで農作業もおくれずにすみました。これからお子様が生まれる方はこういう施設を利用して、早く元気になり良き母親になつて頂きたいものです。

道路改良に威力

失対事業の能率を高めるため県の補助をうけ四十二万円で、十馬力のエアーコンプレッサーが導入され活躍しています。



おめでた

四月
一日　内ケ竜　中川西敏子
一日　青生野　本田　米蔵
二日　名下　須藤　幸夫

おくやみ

四月
二日　岩野草　坂本　清美
三日　戸草　芳賀　勝美
一〇日　酒垂　石井　恵子
一〇日　大戸中　小松　正三
一三日　森ノ前　中川西美伸
一六日　追木　水野　貴子
二三日　塩倉　矢吹　春己
二六日　新宿　鈴木　和男
二七日　岩野草　松崎　勝雄
二九日　大根屋敷　萩原　進
三日　強滝渡部　熊市74
四日　江竜田　芳賀運之助83
八日　宝木　水野喜代之助71
一六日　戸草根本　マツ88

▶今月の納税◀

固定資産税
第1期分です
納期限……**5月25日**
おくれず忘れず納期内完納に御協力下さい。

あとがき

▼昨年らい異常な天候がつづくと思つたら、今年は八十八夜になつても桜が咲かない異変をきたしました。

最近は気象観測も進み長期予報も信頼できるようになり、異常天候に対処する科学技術も長足な進歩をしています。

▼然し受入側に充分な準備態勢がないと科学の恩恵を受けることはできません。冷害対策に県も村も本腰をいれてきました。みんなで努力して異常天候をのりきりましょう。

（鈴木）

